

農林水産大臣賞（捕獲鳥獣利活用部門（団体））

行政・農業者・猟友会等で構成するNPO法人を設立。処理頭数割合について高水準を保ちつつ、独自の精肉ランクを設けることで、安定供給の仕組みを構築。ブランディングにも成功し、専門店との新商品開発等の普及啓発にも取り組む。

NPO法人 ^{もり}森の^{いぶき}息吹

（代表：竹本 ^{たけもと} ^{よしお}吉雄）

主な取組

愛媛県^{きたうわぐん}北宇和郡^{まつのちよう}松野町

- 鳥獣被害防止のため、行政・農業者・猟友会等が一丸となって、それぞれの活動が相乗効果を発揮できる仕組みづくりとともに、総合的な鳥獣被害対策の窓口となる専門組織として平成25年度に「NPO法人森の息吹」を設立し、獣肉処理加工施設も運営中。
- 関係機関が一体となって、捕獲活動からジビエの処理加工・販売までを行っている。捕獲個体を搬入する狩猟者とも意思疎通が図られており、搬入時に捕獲状況等を細かく聞き取ることで処理加工する際の判断材料になり、「まつのジビエ」ブランドの安心・安全に繋がっている。なお、近年、処理頭数割合が5割以上と高い水準を保っている。
- 県のガイドラインを遵守し、徹底した衛生管理により取引先からの信頼を得ており、リピート率は90%を超えている。また、独自の基準により精肉時のランク分けを行い、高ランクのものだけを上質な国産鹿肉「まつのジビエ」として販売している。
- ソーセージ等の加工品の開発にも取り組んでおり、近年のコロナ禍において家庭でもジビエを食べてもらえるよう専門店と提携した新商品の開発や、CoCo壱番屋とコラボしたメニューの展開など、普及啓発にも取り組んでいる。

【利活用実績】

処理率 33.26%（平成27年度） → 54.67%（令和2年度）